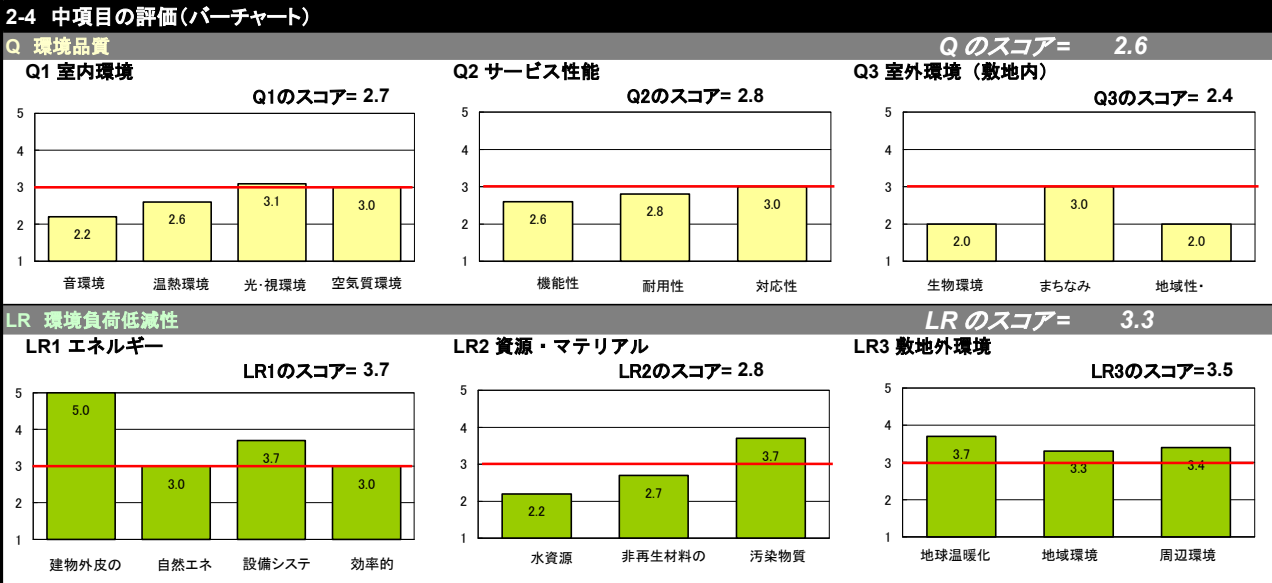
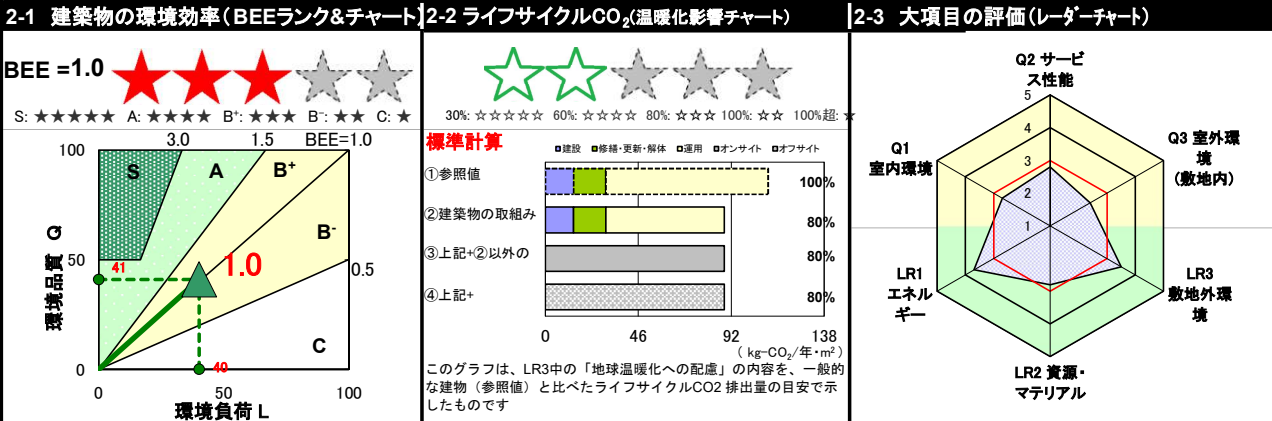


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 佐々木製罐工業 (株) 岩屋工場新築工事	階数	地上3F
建設地	兵庫県伊丹市岩屋一丁目418番,419番,466番2	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域	平均居住人員	10 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,205 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年4月3日
敷地面積	4,120 m ²	作成者	辻田 広一
建築面積	2,470 m ²	確認日	
延床面積	2,596 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		その他
総合	ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。
Q1 室内環境	建物内禁煙として、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽により良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
Q2 サービス性能	給排水、通気の配管に耐用年数30年以上のものを使用し、リフレッシュスペースを確保している。	
LR1 エネルギー	BPI _{lm} =0.76。BEI _{lm} =0.76。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が80%。光害対策ガイドラインの項目の過半を満たし、広告物照明を行っていない。
LR2 資源・マテリアル	LGS使用し、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される